



世界は自分たちの手で変えることができる

身につけたスキルや深めた知識を、誰かのために使う感性（優しさ）と知性（強さ）をもち
当たり前を疑い、豊かな発想で新しい価値を創り出すために自ら学び続ける15歳

子どもを真ん中に、そして学びを社会につなげる



学び・活動のつながり ~子どもが主役の多様な学び・さっぽろっ子自治的な活動~

01

自律的な学習者 # 個別最適な学び # 協働的な学び # 課題探究 # PBL # 社会貢献 # 自治的な活動 # ICT # ユニット学習 # 異学年交流

凸凹の凹を克服することばかりが強いられる学びに楽しさは見出せない。自分の好き、得意、興味に誇りをもち、自分で考え、動き、そして他者と学び合う。そんな体験を通して身につけたスキルや知識を、自分の未来を切り拓く力に変えるとともに、誰かを笑顔にしたり、社会をより良くするために進んで活用できる確かな感性を磨く。授業の在り方も、「教える授業」に加え「学習者を育てる」設計へ。子どもの自治的な活動では、「想いを声にし、声を形に」をテーマとして、小学校低・中学年では大人が伴走しながら支援を重ね、高学年では子どもの意思を尊重して委ねる。中学では学校や地域の課題を協働して自分たちで解決しようとする姿を目指す。変化を生み出した喜びや、想いが形になる手ごたえを心に残す活動を大切にする。

「教える授業」に「育てる授業」を加える

児童会と生徒会がつながる自治的な活動



魅力的な先輩や大人たち・実社会に触れる学び



地域とのつながり

04

ホンモノのコミュニティスクール # 共創

学校運営協議会 # 地域学校協働活動

宮の森地区の強みは地域！地域の人・施設・自然を生かして、地域とともに子どもを育てる環境づくり。

ホンモノのコミュニティスクール

学校と保護者や地域が参画する学校運営協議会には、毎回子どもも参加して生の声を共有。ランドデザインを踏まえ、目標やビジョンを共有し、皆が対等な立場で話し合う。一人ひとりが当事者として地域や学校をより良くするためにアイデアを出し合い、地域・学校運営に反映させようと挑戦し続ける共創型コミュニティスクール。



地域学校協働活動

子どもたちのために、地域と学校が連携・協働して宮の森地区ならではの多種多様な活動を実践。子どもが地域を、地域が子どもを知る機会を創出する。

育ちのつながり ~誰一人取り残さない~

02

子ども理解の連続性 # 心理的安全性 # 不登校支援 # サポート体制 # いじめの防止
学びの支援 # 学びのユニバーサルデザイン # インクルーシブ # 生成AIの活用
コミュニケーションスキル # 命を大切にする教育 # 健やかな体

「そろえる」から「伸ばす」教育へ・「憧れ」と「思いやり」が循環する人間関係

授業の理解度に差があったり、学びやすい方法もそれぞれ違ったりと、子どもは「一人ひとりみんな違う」ということを前提に、「そろえる教育」から「伸ばす教育」へとシフトを図る。「人と違うこと」が強みになる時代。誰一人取り残さず、それぞれの可能性を最大限開花させられるよう、安心して学ぶことができる環境を整える。学校・家庭・地域の中には「すてき！」「ありがとう！」の聲が響き合う雰囲気が届き合う仕組みを整備する。いじめ防止には、学校・家庭・地域総ぐるみで「しない・させない・許さない」を徹底する。

教職員のつながり

03

パートナー部会 # 研究集会
共通指導言語の獲得

春の研究集会とパートナー部会

毎年6月にパートナー校の全教職員が一同に会して互いの授業を見合い、指導言語やランドデザインの子どもの像を共有。教職員は皆、知育部・徳育部・体育部・支援部・推進部のいずれかに所属し、小中一丸となって目指す子ども像の実現に向けて、各視点から具体的な取組を検討。随時情報を共有しながら小中一貫した教育を共創・推進する。



Positive×Love×Unique=Smile

対話から創造へ
共感から笑顔へ



つながる心 あふれる知恵

みんなが笑顔で
つながる大倉山小



自ら学びともに高めあう
笑顔いっぱいの学校の創造

地域の願い

地域は子どもの「やりたい」を面白がり
未来を共に創る身近な伴奏者
「やりたい」を声に出し挑戦できる子に！



私たちの挑戦を認め、励まし
共に歩んでくれるまち

子どもの願い

どんな時でも私たちを信じ
あたたかく受け入れてくれる場所



家庭は不安や喜びを共有し
ありのままのあなたを応援する心の居場所
自分らしく笑顔あふれる毎日を！

家庭の願い